

令和 元年 6 月 18 日現在

機関番号：12102

研究種目：国際共同研究加速基金（国際共同研究強化）

研究期間：2017～2018

課題番号：16KK0072

研究課題名（和文）公共図書館の直営経営とハイブリディゼーションの国際比較研究（国際共同研究強化）

研究課題名（英文）International Comparative Analysis of Public Library Management from the Perspectives of Purity and Hybridisation(Fostering Joint International Research)

研究代表者

小泉 公乃 (Koizumi, Masanori)

筑波大学・図書館情報メディア系・助教

研究者番号：70567461

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 5,000,000円

渡航期間： 12ヶ月

研究成果の概要（和文）：本研究では、社会において成果を上げている北欧の公共図書館経営の実態について解明した。具体的には、第一に、包括的な文献調査に基づいて、北欧の社会と公共図書館経営に重要な理念として根付いている＜民主主義＞と＜公共圏＞という概念を公共図書館との関係性から明らかにした。第二には、5館の事例分析に基づいて、北欧社会において公共図書館が成果を上げ続けるエコシステムを明らかにした。第三には、18館の事例分析から、北欧のエコシステムを支える経営手法としての直営経営とハイブリディゼーションのマネジメントの在り方について明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

知識の累積性が重要な意味を持つ公共図書館においては、成果と効率のバランスが取れ長期的な視点に基づいた経営が必要となる。21世紀においては世界的にも持続可能な社会を目指しており、これからの社会においても知の砦として機能する公共図書館は同様に持続可能なマネジメントの在り方が求められる。本研究を通して、社会において成果を上げ続けている北欧の公共図書館経営の理念、エコシステム、経営手法を詳細に解明したことは、21世紀社会の公共図書館において意義のあることである。また、これまで明らかにされてこなかった北欧の公共図書館経営の実態が解明されたことは学術的にも意義がある。

研究成果の概要（英文）：In this study, we elucidated the aspects of public library management in the Nordic countries which have been successful in society. First, through a comprehensive literature review, we clarified the importance of democracy and the public sphere, both important concepts in which Nordic society and public library management are rooted. Second, we illustrated the public library ecosystem which has been successful in Nordic countries through five case studies. Third, through eighteen case studies, we identified the managerial techniques, including direct management and hybridization, which support the aforementioned public library ecosystem.

研究分野：図書館情報学

キーワード：図書館経営 公共圏 ハイブリディゼーション 北欧 国際比較研究 事例分析 エスノグラフィ 民主主義

1. 研究開始当初の背景

ノルウェーの首都オスロに位置する Oslo Metropolitan University を拠点とし、ALMPUB という公共図書館を研究テーマとする国際研究グループに所属することで、公共図書館の経営に関する共同研究を推進する環境を整えた。

研究開始当初、公共図書館の直営経営とハイブリディゼーションを解明するために、北欧の公共図書館を対象とした質問紙調査の実施を検討していたが、ALMPUB の研究グループのリーダーと他のメンバーが同様の調査を実施することになった。また基研究（16K16161）において、北欧の図書館経営のメカニズムを解明していくなかで、公共図書館経営の重要な要素として「民主主義」と「公共圏」を理念とする考え方が図書館組織に浸透し、北欧社会にも深く根付いていることが明らかになりつつあった。

そこで本研究では、北欧の公共図書館に特徴的な「民主主義」と「公共圏」に着目し、公共図書館の直営経営とハイブリディゼーションについてより広範な質的調査から明らかにすることとした。

2. 研究の目的

本研究の目的は、公共図書館の直営経営とハイブリディゼーションについて解明することである。具体的には、第一に、北欧の公共図書館に大きな影響を与えている「民主主義」と「公共圏」の概念について公共図書館との関係性から明らかにする。第二には、社会において成果を上げ続けている北欧の公共図書館のエコシステムを民主主義、公共圏の概念、図書館法、政党・政治家、公共図書館、市民という広範な視点から事例分析をもとに明らかにする。第三には、公共図書館経営の直営経営とハイブリディゼーションの実態を質的調査に基づいて明らかにする。

3. 研究の方法

第一の目的を達成するために、「民主主義」と「公共圏」に関連する文献の包括的なレビューを実施することで、約 150 の先行研究を対象に分析した。また、実際に北欧の公共図書館を訪問し、文献調査も実施した。

第二に、北欧の主要な公共図書館を対象に「民主主義」と「公共圏」の視点から詳細な事例を分析することで、北欧の公共図書館のエコシステムを解明した。分析対象とした事例は、ダイクマン図書館（Deichman Bibliotek, ノルウェー）、トロムソ図書館（Tromsø Bibliotek, ノルウェー）、ストックホルム図書館（Stockholm Stadsbiblioteket, スウェーデン）、ヘルシンキ市図書館（Helsingin kaupunginkirjasto, フィンランド）、オーフス市図書館（Aarhus Bibliotekerne, デンマーク）である。

第三に、北欧の公共図書館 18 館を対象にエスノグラフィー調査（観察調査、資料調査、インタビュー調査の組み合わせ）を実施することで、公共図書館における直営経営とハイブリディゼーションの実態を解明した。調査対象館は下記の通りである。

【ノルウェー】オスロ市ダイクマン図書館の中央館（Deichman Bibliotek）、新中央館 Bjørnvika Bibliotek、ストブナー図書館（Stovner Bibliotek）、トイエン図書館

（Tøyen Bibliotek）、ビブリオ・トイエン（Biblio Tøyen）、 Bjørnholt 図書館（Bjørnholt Bibliotek）、ドラメン市図書館（Drammen Bibliotek）、トロムソ図書館（Tromsø Bibliotek）

【スウェーデン】ストックホルム市図書館（Stockholm Stadsbiblioteket）とキスタ図書館（Kista Bibliotek）、ナッカ市図書館（Nacka Bibliotek）、ゴットランド市図書館（Gotland, Almedalsbiblioteket）

【デンマーク】コペンハーゲン市図書館の中央館（Københavns Biblioteker）、デンマーク王立図書館（The Royal Library）、オーフス市図書館（DOKK1）

【フィンランド】ヘルシンキ市図書館の中央館（Pasilan Kirjasto）、オーディ図書館（Keskustakirjasto Oodi）、ヘルシンキ市の隣接自治体エスポー市のイソ・オメナ図書館（Iso Omenan Kirjasto）である。

4. 研究成果

4.1. 公共図書館における民主主義と公共圏

包括的な文献調査を通して、公共図書館には社会において「民主主義」と「公共圏」の基盤としての役割があることが解明された。具体的には、第一に、ドイツの政治哲学者ユルゲン・ハーバマス（Jürgen Habermas）の公共圏（Public Sphere）の理論が広範な文脈から論じられており、ヨーロッパにおいては実際にも政府、社会、公共図書館に浸透していることがわかった。第二には、公共図書館が民主主義社会を促進するために、人々の「ミーティングプレイス」としての機能が重要になっていることである。第三には、デジタルデバイドの解消といった社会的包摂としての機能が公共図書館においては重要であることも明らかになった。第四には、電子資料やソーシャルネットワークサービスといった電子的な空間における公共圏の機能を持った場を実現することが北欧の公共図書館においては重要な論点であることがわかった。

また、追加の文献調査において、特に北欧の公共図書館の経営においては、民主主義と

公共圏が公共図書館の理念として強調される傾向にあることも明らかになった。電子的な空間と公共圏の機能を実現するための経営の在り方と館種を超えたハイブリディゼーションは密接にかかわっていた。図書館経営においては、直営経営を採用したほうが自治体職員とステークホルダーの距離が近くなり、民主主義社会と公共圏が実現しやすいことが推察された。

4.2. 公共図書館経営の北欧モデル

北欧の公共図書館においては、民主主義、公共圏の概念、図書館法、政党・政治家、公共図書館の場、市民が社会の中で有機的につながっていることが明らかになった。そして、この北欧における民主主義社会のエコシステムの中で、公共図書館はその中核的な機関として位置づけられていた。

具体的には、(1) 北欧における政府はその図書館法と政策を通して公共図書館を民主主義と市民参加の公共空間として明示的に位置づけていた。(2) 政党・政治家は、公共図書館を地域社会における課題について市民と共に議論をする場として活用していた。(3) 図書館長とマネージャは公共図書館の場を広く市民に公開していた。また彼らは、地域社会の課題を政党と市民が公共図書館で議論をする際に、その中立性を守るための努力をしていた。そして、(4) 若者から高齢者までの多様な市民が公共図書館を地域課題について議論をする場として認識し、実際に公共図書館で民主主義や公共圏につながる活動を実施していた。この結果は、先の包括的な文献レビューによって明らかにした結果とも一致していた。

このように、民主主義、公共圏の概念、図書館法、政党・政治家、公共図書館（図書館長・マネージャ）、市民が密接に有機的なつながりを保つエコシステムが、北欧モデルの中核的要素であることが解明された。また、このような北欧モデルにおいては、公共図書館の経営も自治体による直営経営である必要があることもわかった。

4.3. 公共図書館の直営経営とハイブリディゼーション

北欧の公共図書館は、自治体による直営経営を保ちつつも純粋な公共図書館のみではなく、各地域の状況に応じて「公共図書館と学校図書館」、「公共図書館と大学図書館」、「公共図書館と文書館」のようなハイブリディゼーションを実施していた。これらのハイブリディゼーションの事例については、異なった組織が交わっていることから、純粋な公共図書館の直営経営よりも経営の難易度が高まっていた。特に、「公共図書館と大学図書館」のハイブリディゼーションは、大学図書館が学生や研究者からの高度な研究ニーズに対してサービスを提供する必要性があることから、あらゆる人々に対してサービスを提供する必要がある公共図書館のマネジメントとの相違が非常に大きく、同じ図書館内で働く司書のモチベーションを維持することに困難が生じていた。つまり、組織の理念とニーズの相違の大きさがハイブリディゼーションの困難さと比例していた。

同様に組織の大きさもハイブリディゼーションの成否に大きな影響を与えていることが明らかになった。具体的には、大きな組織と小さな組織あるいは小さな組織同士の場合は、ハイブリディゼーションが適切に機能することが多かったが、大きな異組織同士のハイブリディゼーションになると、組織文化間の衝突と軋轢が生じる事例がみられるようになった。

これらの事例分析を基礎として、今後、在外研究中に得たデータをさらに詳細に分析し、その結果を査読論文や学術書に取り纏めていく予定である。

5. 主な発表論文等

(研究代表者は下線)

[雑誌論文](計 1 件)

- (1) Ragnar Audunson; Svanhild Aabø; Roger Blomgren; Sunniva Evjen; Henrik Jochumsen; Håkon Larsen; Casper Hvenegaard Rasmussen; Andreas Vårheim; Jamie Johnston; Masanori Koizumi. Public libraries as an infrastructure for a sustainable public sphere: A comprehensive review of research. *Journal of Documentation*, 2019, vol. 75, no. 4. <https://doi.org/10.1108/JD-10-2018-0157>. (accepted)

[学会発表](計 3 件)

- (1) Masanori Koizumi; Håkon Larsen. Public libraries and democracy in the Nordic model. *BOBCATSSS 2019*. Osijek University, Croatia. 2019-01.
- (2) Tomoya Igarashi; Masanori Koizumi; Miki Kozakura. New Roles and Evaluation of Public Libraries: Experience, Involvement, Empowerment, and Innovation. *BOBCATSSS 2019*. Osijek University, Croatia. 2019-01.
- (3) Masanori Koizumi. Three Dimensions of Hybridisation in the Public Library. *DIGITALISERING + MOTEPLASS = SANT?*. National Library of Norway, Norway. 2018-05.

6 . 研究組織

研究協力者

〔主たる渡航先の主たる海外共同研究者〕

研究協力者氏名：

ローマ字氏名：Ragnar Audunson

所属研究機関名：Oslo Metropolitan University

部局名：Department of Archivalistics, Library and Information Science, Faculty of Social Sciences

職名：Professor

〔その他の研究協力者〕

研究協力者氏名：Svanhild Aabø

ローマ字氏名：Svanhild Aabø,

所属研究機関名：Oslo Metropolitan University

部局名：Department of Archivalistics, Library and Information Science, Faculty of Social Sciences

職名：Professor

研究協力者氏名：Håkon Larsen

ローマ字氏名：Håkon Larsen

所属研究機関名：Department of Social and Educational Sciences

部局名：Inland Norway University of Applied Sciences

職名：Professor

研究協力者氏名：Roger Blomgren

ローマ字氏名：Roger Blomgren

所属研究機関名：University of Borås

部局名：Department of Libraries, Swedish School of Library and Information Science

職名：Professor

研究協力者氏名：Henrik Jochumsen

ローマ字氏名：Henrik Jochumsen

所属研究機関名：University of Copenhagen

部局名：Department of Information Studies

職名：Associate Professor

研究協力者氏名：Casper Hvenegaard Rasmussen

ローマ字氏名：Casper Hvenegaard Rasmussen

所属研究機関名：University of Copenhagen

部局名：Department of Information Studies

職名：Associate Professor

研究協力者氏名：Andreas Vårheim

ローマ字氏名：Andreas Vårheim

所属研究機関名：, University of Tromsø

部局名：Department of Culture and Literature

職名：Professor

研究協力者氏名：Jamie Johnston

ローマ字氏名：Jamie Johnston

所属研究機関名：Oslo Metropolitan University

部局名：Department of Archivalistics, Library and Information Science, Faculty of Social Sciences

職名：Assistant Professor

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。